

JTDBセミナー

帝京大学 大学棟4F402号室

平成31年2月17日(日)

平成31年1月20日(日)

9:40~10:10

新JTDBにおける項目改訂の説明

齋藤大蔵

日本外傷データバンク

[メイン](#)

[はじめに](#)

[参加申込](#)

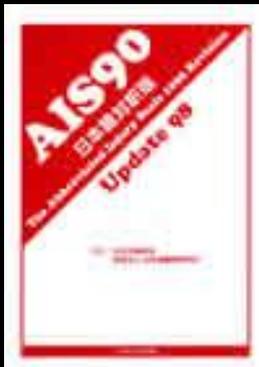
[資料室](#)

[FAQ](#)

[お問い合わせ](#)

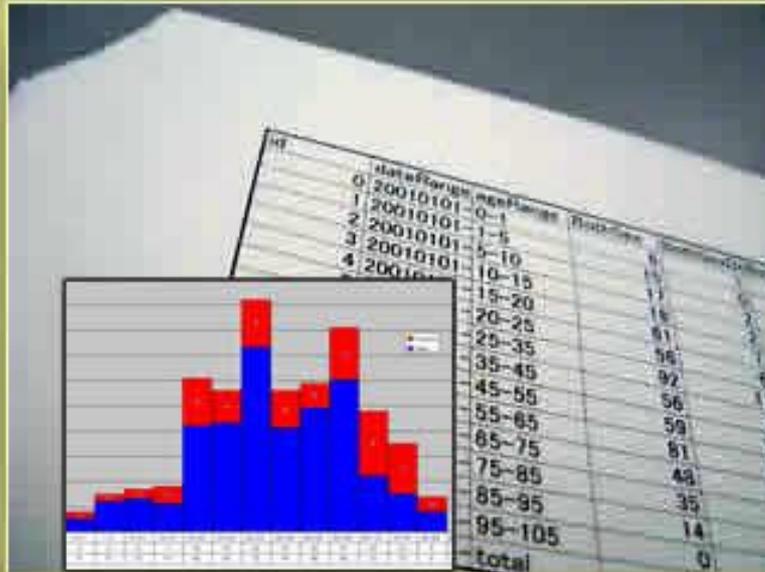
[リンク](#)

[外傷患者登録システムへ行く](#)



日本外傷データバンクのページ

Japan Trauma Data Bank Annual Report
2004-2005 is now available [here](#).



JTDB参加施設名(全272施設、順不同) 2018年3月時点

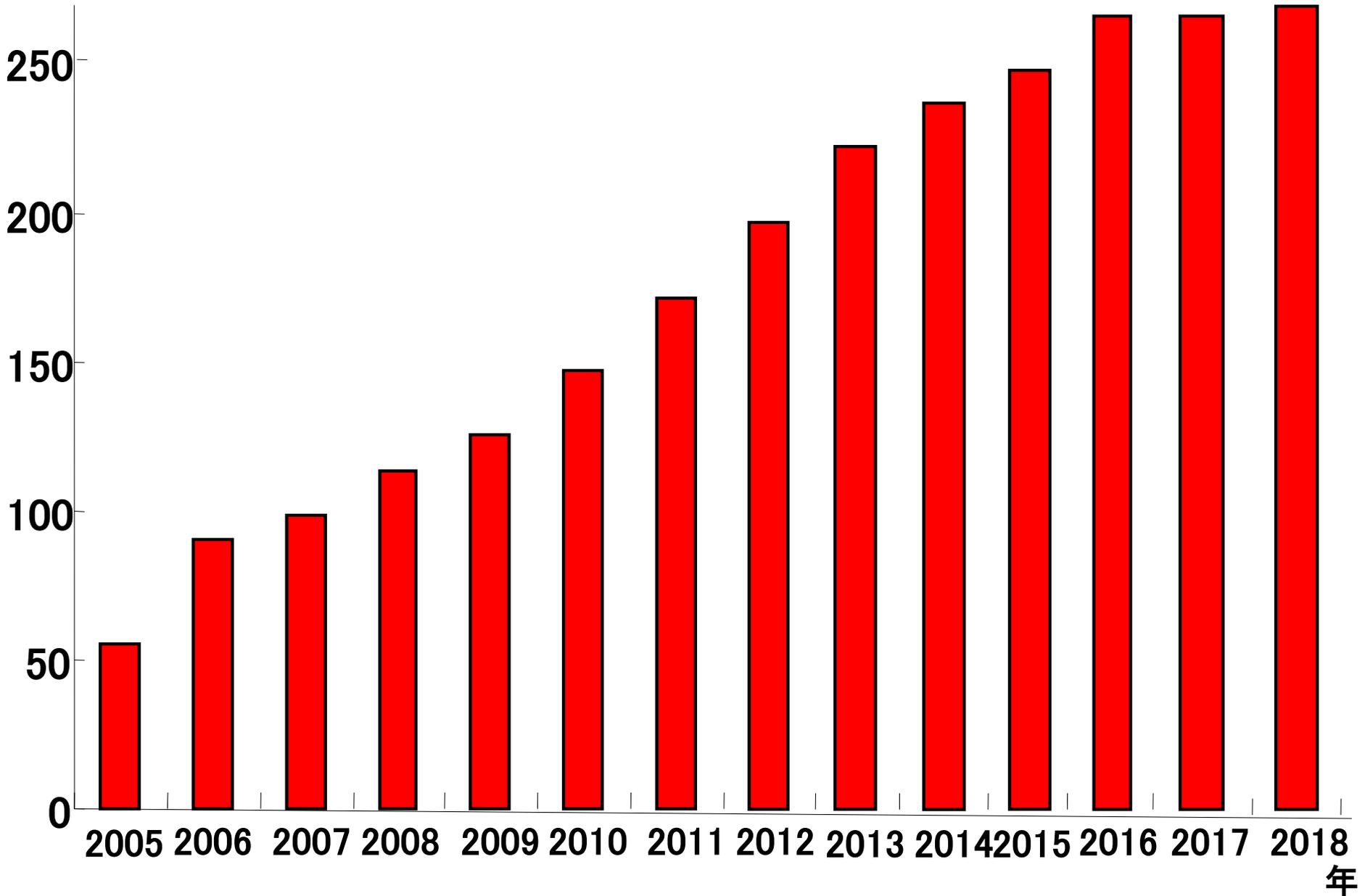
手稲溪仁会病院	(独)国立病院機構 高崎総合医療センター	駿河台 日本大学病院	長野市民病院
北海道大学病院	SUBARU健康保険組合 太田記念病院	東京女子医科大学	下呂市立金山病院
北斗病院	さいたま赤十字病院	青梅市立総合病院	JA岐阜厚生連中濃病院
(独)国立病院機構 北海道医療センター	埼玉医科大学国際医療センター	日本大学医学部附属板橋病院	岐阜大学医学部附属病院
市立札幌病院	埼玉医科大学総合医療センター	東京医科歯科大学医学部附属病院	高山赤十字病院
日鋼記念病院	久喜総合病院	東京都立墨東病院	大垣市民病院
札幌医科大学附属病院	川口市立医療センター	東京都済生会中央病院	沼津市立病院
旭川赤十字病院	獨協医科大学越谷病院	国立成育医療研究センター	静岡赤十字病院
札幌徳洲会病院	防衛医科大学校病院	日本赤十字社医療センター	静岡済生会総合病院
弘前大学医学部附属病院	深谷赤十字病院	白鬚橋病院	順天堂大学医学部附属静岡病院
青森県立中央病院	船橋市立医療センター	東京都立多摩総合医療センター	聖隷三方ヶ原病院
八戸市立市民病院	順天堂大学医学部附属浦安病院	国士舘大学大学院	静岡県立総合病院
岩手医科大学	国保旭中央病院	昭和大学横浜市北部病院	静岡徳洲会病院
岩手県立久慈病院	日本医科大学千葉北総病院	(独)国立病院機構 横浜医療センター	掛川市・袋井市病院企業団立
岩手県立中央病院	千葉大学医学部附属病院	日本医科大学武蔵小杉病院	中東遠総合医療センター
大崎市民病院	千葉県救急医療センター	済生会横浜市東部病院	藤枝市立総合病院
東北大学病院	松戸市立総合医療センター	聖マリアンナ医科大学	豊橋市民病院
仙台市立病院	亀田総合病院	湘南鎌倉総合病院	総合大雄倉病院
石巻赤十字病院	国保直営総合病院君津中央病院	横浜市立市民病院	藤田保健衛生大学
(独)国立病院機構 仙台医療センター	東京慈恵医科大学附属柏病院	小田原市立病院	名古屋市立大学病院
みやぎ県南中核病院	東京女子医科大学八千代医療センター	横須賀共済病院	半田市立半田病院
秋田赤十字病院	東京ベイ・浦安市川医療センター	平塚市民病院	愛知医科大学医学部附属病院
秋田大学医学部附属病院	千葉労災病院	藤沢市民病院	名古屋掖済会病院
山形県立中央病院	昭和大学病院	関東労災病院	社会保険中央病院
福島県立医科大学	(独)国立病院機構 東京医療センター	横浜労災病院	岡崎市民病院
太田西ノ内病院	日本大学医学部社会医学講座	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	春日井市民病院
会津中央病院	(独)国立病院機構 災害医療センター	東海大学医学部付属病院	小牧市民病院
新潟市民病院	都立広尾病院	昭和大学藤が丘病院	(独)国立病院機構 名古屋医療センター
新潟大学医歯学総合病院高次救命災害治療センター	武蔵野赤十字病院	北里大学病院	三重大学医学部付属病院
新潟県立新発田病院	日本医科大学多摩永山病院	横須賀市うらわまち病院	厚生連 高岡病院
魚沼基幹病院	東京医科大学	横浜市立みなと赤十字病院	市立砺波総合病院
茨城西南医療センター病院	東京医科大学八王子医療センター	横浜栄共済病院	富山県立中央病院
(独)国立病院機構 水戸医療センター	慶應大学病院	海老名総合病院	富山大学附属病院
筑波大学附属病院	聖路加国際病院	新百合ヶ丘総合病院	金沢大学附属病院
筑波メディカルセンター病院	帝京大学	山梨県立中央病院	石川県立中央病院
茨城県立中央病院	東邦大学医療センター大森病院	相澤病院	福井県立病院
水戸済生会総合病院	国立国際医療研究センター	諏訪赤十字病院	福井大学医学部附属病院
獨協医科大学病院	東京大学医学部附属病院	飯田市立病院	近江八幡市立総合医療センター
自治医科大学	公立昭和病院	伊那中央病院	済生会滋賀県病院
栃木県済生会宇都宮病院	東京女子医科大学東医療センター	佐久総合病院佐久医療センター	京都第二赤十字病院
群馬大学医学部附属病院	日本医科大学付属病院	信州大学医学部附属病院	(独)国立病院機構 京都医療センター
前橋赤十字病院	杏林大学医学部附属病院	長野赤十字病院	洛和会音羽病院

JTDB参加施設名(全272施設、順不同) 2018年3月時点

市立福知山市民病院	岡山大学病院	長崎大学病院
京都第一赤十字病院	広島大学病院	(独)国立病院機構 長崎医療センター
徳洲会宇治徳洲会病院	(独)国立病院機構	荒尾市民病院
京都府立医科大学	呉医療センター中国がんセンター	熊本赤十字病院
京都岡本病院	福山市民病院	(独)国立病院機構 熊本医療センター
りんくう総合医療センター	県立広島病院	済生会熊本病院
大阪府済生会千里病院千里救命救急センター	中国労災病院	大分大学医学部附属病院
大阪府立急性期・総合医療センター	(独)国立病院機構 関門医療センター	大分市医師会立アルメイダ病院
阪和記念病院	徳山中央病院	県立宮崎病院
(独)国立病院機構 大阪医療センター	山口県立総合医療センター	宮崎大学医学部附属病院
大阪府立中河内救命救急センター	山口大学医学部附属病院	宮崎善仁会病院
大阪府三島救命救急センター	徳島県立海部病院	都城市郡医師会病院
近畿大学医学部附属病院	徳島県立中央病院	大隅鹿屋病院
岸和田徳洲会病院	徳島県立三好病院	鹿児島市立病院
大阪大学医学部附属病院	徳島赤十字病院	米盛病院
大阪市立総合医療センター	倚山会田岡病院	沖縄県立中部病院
関西医科大学附属滝井病院	香川大学医学部附属病院	沖縄県立北部病院
大阪市立大学医学部附属病院	香川県立中央病院	琉球大学医学部附属病院
関西医科大学附属枚方病院	愛媛県立中央病院	浦添総合病院
堺市立総合医療センター	愛媛大学医学部附属病院	中頭病院
大阪警察病院	愛媛県立新居浜病院	豊見城中央病院
兵庫県立西宮病院	高知医療センター	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
兵庫県立加古川医療センター	近森病院	
兵庫県立淡路病院	高知赤十字病院	
兵庫医科大学病院	久留米大学病院	
神戸市立医療センター中央市民病院	飯塚病院	
神戸大学医学部附属病院	健和会大手町病院	
兵庫県災害医療センター	北九州市立八幡病院	
公立豊岡病院但馬救命救急センター	九州大学病院	
公立村岡病院	北九州総合病院	
関西労災病院	小倉記念病院	
製鉄記念広畑病院姫路救命救急センター	福岡和白病院	
奈良県総合医療センター	福岡赤十字病院	
奈良県立医科大学	(独)国立病院機構 福岡東医療センター	
和歌山県立医科大学附属病院	済生会福岡総合病院	
日本赤十字社和歌山医療センター	福岡大学病院	
鳥取大学医学部附属病院	雪ノ聖母会聖マリア病院	
島根大学医学部附属病院	新行橋病院	
島根県立中央病院	(独)国立病院機構 九州医療センター	
津山中央病院	佐賀大学医学部附属病院	
川崎医科大学附属病院	佐賀県医療センター好生館	
倉敷中央病院	(独)国立病院機構 嬉野医療センター	

日本外傷データベース参加登録施設数

参加施設数



Japan Trauma Data Bank Report 2018 (2013-2017)

Japan Trauma Care and Research

**The Japanese Association for the Surgery of Trauma
(Trauma Registry Committee)**



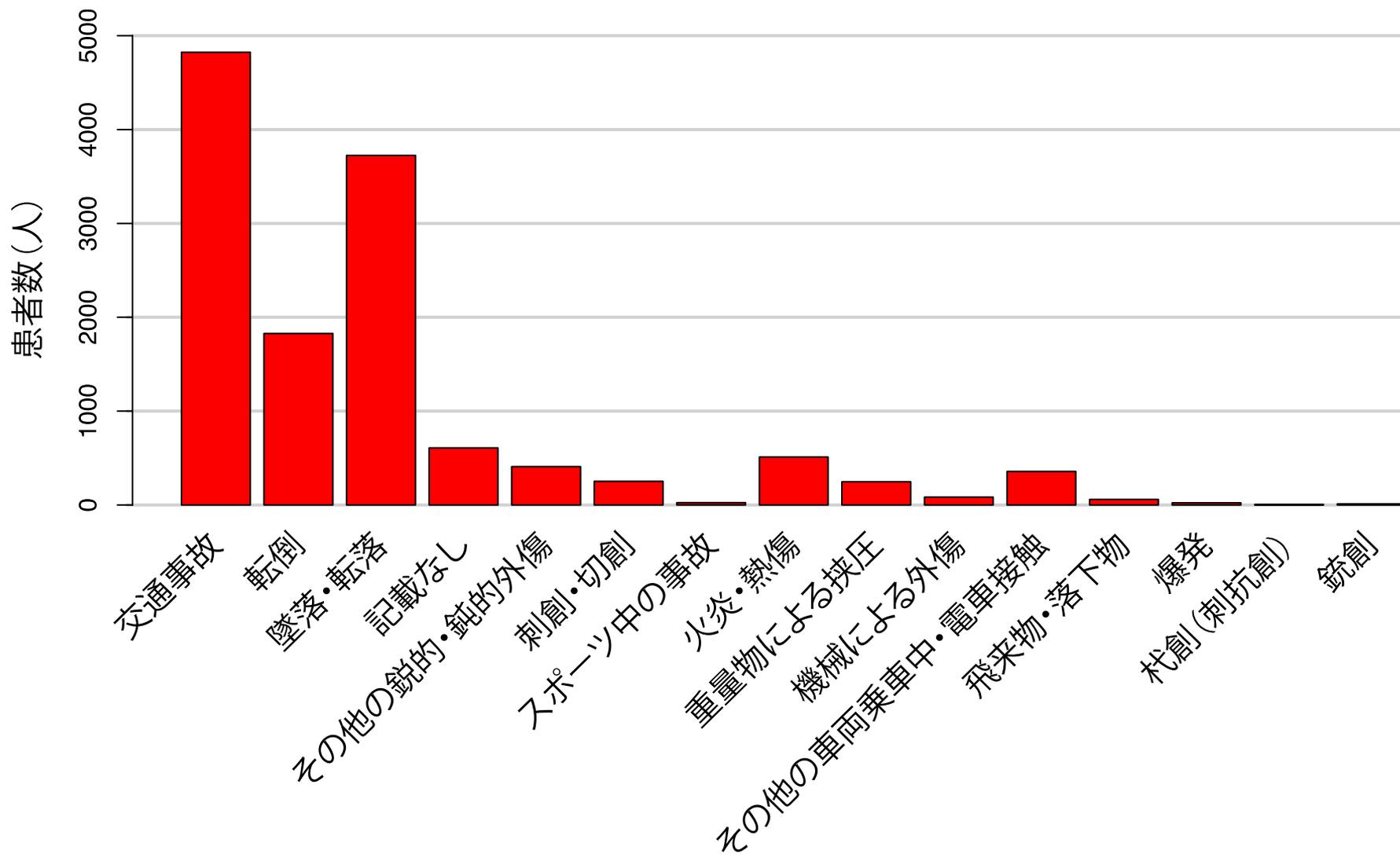
**The Japanese Association for Acute Medicine
(Committee for Clinical Care Evaluation)**



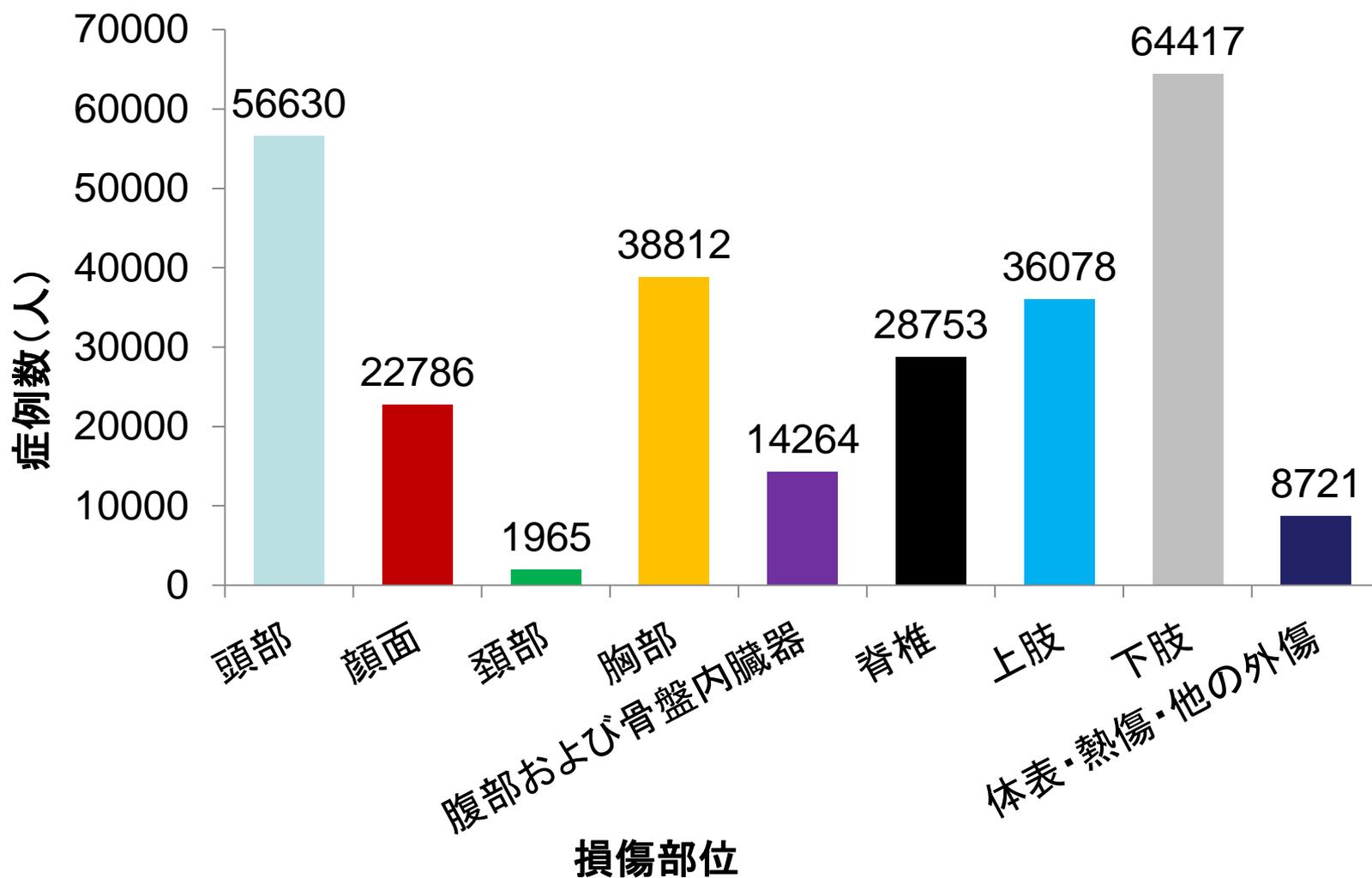
JTDB入力項目の分類

- I. 患者初期情報：年齢・性別・受傷原因・外傷分類など9項目
- II. 病院前情報：搬送経路・搬送時間・現場バイタルサインなど
15項目
- III. 転送情報： 転送元病院収容日時・転送理由など8項目
- IV. 来院時病態： 来院時バイタルサイン、既往症など15項目
- V. 初療時の検査と処置：臨床評価指標を含む16項目
- VI. 診断名と損傷重症度：AIS95 update 98、ISSなど18項目
- VII.入院退院情報： 救急部門管理日数・転帰など13項目

受傷機転別の死亡数



各部位損傷症例数



日本外傷データバンク洗浄データの開示

JTDBでは2008年10月に初めて2004年から2007年までの20,257症例の洗浄データ(個人特定不能)を参加登録施設に開示した。現在、JTDB参加登録施設を中心に外傷疫学研究が行われている。

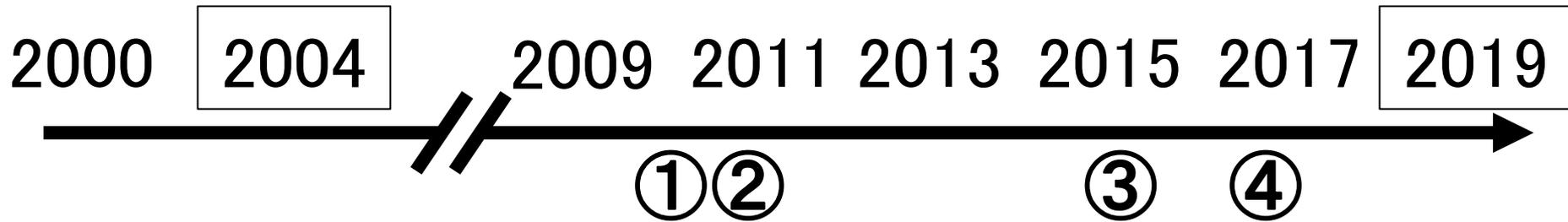
1回目	2004年-2007年	: 20,257症例
2回目	2004年-2008年	: 29,563症例
3回目	2004年-2009年	: 42,336症例
4回目	2004年-2010年	: 70,674症例
5回目	2004年-2011年	: 94,664症例
6回目	2004年-2012年	: 123,462症例
7回目	2004年-2013年	: 159,157症例
8回目	2004年-2014年	: 198,744症例
9回目	2004年-2015年	: 236,698症例
10回目	2004年-2016年	: 88,701症例
11回目	2004年-2017年	: 294,274症例

現JTDB入力項目一覧

No.	入力項目	No.	入力項目	No.	入力項目
I. 患者初期情報		IV. 来院時病態		VI. 診断名と損傷重症度	
1	◎ 病院ID／パスワード	33	◎ 収縮期血圧	64	◎ 頭頸部損傷形態(AIS)
2	◎ 年齢	34	▲ 拡張期血圧	65	* 頭頸部AIS-90スコア
3	◎ 性別	35	◎ 呼吸数	66	◎ 顔面損傷形態(AIS)
4	▲ 患者ID	36	◎ 心拍数	67	* 顔面AIS-90スコア
5	◎ 受傷年月日	37	◎ 体温(℃)	68	◎ 胸部損傷形態(AIS)
6	◎ 受傷時刻	38	◎ 体温測定部位	69	* 胸部AIS-90スコア
7	◎ 受傷原因	39	◎ GCS-E	70	◎ 腹部損傷形態(AIS)
8	◎ 外傷分類	40	◎ GCS-V	71	* 腹部AIS-90スコア
9	◎ 受傷機転	41	◎ GCS-M	72	◎ 四肢骨盤損傷形態(AIS)
II. 病院前情報		42	* GCS	73	* 四肢骨盤AIS-90スコア
10	◎ 搬送経路	43	◎ JCS	74	◎ 体表損傷形態(AIS)
11	◎ 搬送手段	44	* RTS	75	* 体表AIS-90スコア
12	▲ 消防機関名	45	◎ 受傷前飲酒	76	* ISS
13	◎ 覚知時刻	46	▲ 血中アルコール濃度	77	* TRISS Ps値
14	◎ 現着時刻	47	◎ 既往症	78	▲ 日本外傷学会損傷分類
15	▲ 傷病者接触時刻	V. 初療時の検査と処置		79	▲ 頭部外傷 TCDB分類
16	◎ 現発時刻	48	▲ 医師診察開始時間	80	◎ 合併症
17	◎ 病院着時刻	49	◎ 腹部US(FAST)	VII. 入院退院情報	
18	* 搬送時間	50	◎ CTスキャン	81	◎ 入院日
19	◎ 救急救命士同乗	51	▲ CT施行時刻	82	◎ 初期治療後入院病棟
20	▲ 病院前処置	52	◎ 緊急血管造影	83	◎ 入院後診療科
21	◎ 現場血圧	53	▲ 血管造影開始時刻	84	▲ 人工呼吸管理日数
22	◎ 現場脈拍数	54	◎ 緊急救命処置	85	▲ ICU在室日数
23	◎ 現場呼吸数	55	▲ 輸血開始時刻	86	◎ 救急部門退出口(転科日)
24	◎ 現場JCS	56	▲ 初期24時間輸血総量	87	* 救急部門管理日数
III. 転送情報		57	◎ 初回手術(TAE含む)	88	◎ 退院日
25	▲ 初期消防機関名	58	◎ 初回手術日	89	◎ 退院後転出先
26	○ 転送元病院分類	59	▲ 初回手術室入室時刻	90	▲ 退院時機能的自立度(FIM)
27	○ 転送理由	60	* 初回手術開始までの時間	91	* 入院日数
28	○ 転送元病院収容日	61	◎ 手術適応	92	▲ 死亡時刻
29	○ 転送元病院収容時刻	62	◎ 手術内容	93	▲ 剖検
30	○ 転送元病院出発日	63	◎ 48時間以内の再手術		
31	* 受傷から入室までの時間				
32	○ 経由病院数				

◎入力必須項目、○該当時必須、▲オプション、* 自動計算

日本外傷データバンク設立後



① 項目改訂の論議

② AIS2005update2008翻訳

③ 統合データベースへの移行論議

④ 個人情報保護法改訂:新倫理指針

新JTDBにおける 項目改訂の基本方針

1. 項目を増やさない
 2. 現JTDBの入力不良項目を外す
 3. 外傷学会臓器損傷分類を入れる
 4. 疫学研究に有用な項目内容にする
- * 重要項目の欠損値を少なくする
アラート機能を導入する

トラウマレジストリー検討委員会 項目改訂WG会議

第1回 2017年 4月10日(月)

第2回 2017年 7月 7日(金)

第3回 2017年 8月 3日(木)

第4回 2017年11月10日(金)

* 2018年 1月 4日(木)~2月28日(水)
パブリックコメント受付期間

第5回 2018年 4月 1日(日)

日本外傷データベース患者登録フォーマット

患者基本情報

年齢: _____ (月齢 _____) 性別: 男女

外傷原因: 不慮の事故 自損(自殺企図) 第三者行為 未定(捜査中)

他(法的介入・法執行、戦争・暴動) 不明

外傷分類: 鈍的 鋭的 熱傷 混合 他 不明

受傷機転:(主の機転を1つ選択)

交通事故: 四輪車両運転者 四輪車助手席同乗 四輪車後部座席同乗

自動二輪車運転者 自動二輪車同乗者 自転車走行中 歩行者

その他の乗り物乗車中

鉄道関連: 電車に轢過・接触等 乗車中

機械による外傷: 回転体機械 プレス機 その他

墜落、転落: 墜落 転落(階段等) 転倒

物・人からの外力: 落下・飛来物 静止物への衝突 人から殴打(素手)・人と衝突

鈍器による殴打 動物(咬むことによる) 動物(咬むこと以外) 性的暴行

鋭利な物による刺入 鋭利でない物による刺入(杵創など) その他

挟圧: 重量物による挟圧(家屋倒壊) 人・雑踏による狭圧

爆発: 衝撃波による 爆発による鋭的損傷 爆発による鈍的損傷 爆発による熱傷

銃撃: 銃による(散弾銃以外) 散弾銃による

熱傷: 火炎による 熱湯による 化学物質による 電撃による その他

その他: 土砂崩れ その他の自然災害

病院前情報

搬送経路
搬送方法

現場から 医療機関から その他から 不明
救急車 ドクターカー 病院車 自家用車 ドクターヘリ
それ以外のヘリ 独歩 他 不明

受傷日時: 20__年__月__日__時__分 推定 不明
覚知日時: 20__年__月__日__時__分 推測 不明
現着日時: 20__年__月__日__時__分 推測 不明
傷病者接触日時: 20__年__月__日__時__分 推測 不明(ドクター以外)
20__年__月__日__時__分 推測 不明(ドクター)

現発日時: 20__年__月__日__時__分 推測 不明

病院着日時: 20__年__月__日__時__分 推測 不明

救急救命士同乗: あり なし 不明 搬送時間__分

病院前処置 酸素吸入 頸椎カラー バックボード 副子 人工呼吸
胸骨圧迫 気管挿管 気道確保 静脈路確保・輸液 ターニケット
ペルビック・バインダー 胸腔穿刺・ドレナージ 輸血 施行せず
他 不明

救急隊現着もしくはドクターカー・ドクターヘリ到着時の所見

収縮期血圧__mmHg 測定不能 測定せず 不明

拡張期血圧__mmHg 測定不能 測定せず 不明

脈拍数__/分 測定不能 測定せず 不明

呼吸数__/分 測定不能 測定せず 不明

現場 JCS__ 不明

現場 GCS: E__ 不明 V__ 不明 M__ 不明 合計__ (自動

計算

SpO2__%(酸素投与; あり なし) 測定不能

来院時情報

収縮期血圧__mmHg *心拍あるも血圧測定不能時は「40」、脈拍触れずは「0」

拡張期血圧__mmHg *触診のときは入力せず

呼吸数 : __/分 不明 心拍数 : _____/分 不明

体温 : ____°C 不明 体温測定部位 腋窩直腸膀胱鼓膜他不明

来院時 JCS: __ 不明 来院時 GCS: E __ 不明 V __ 不明 M __ 不明

SpO2 _____ % (酸素投与; あり なし) 測定不能

乳酸値 ____ mmol/L mg/dL

Signs of Life (体動、対光反射、眼球運動、自発呼吸(死戦期呼吸を含める)、
PEA[HR>40])

あり なし

薬物乱用(薬物とは向精神薬、依存性薬物など意識レベルに影響する薬物)

あり なし 不明

受傷前ADLの障害

あり なし

受傷前飲酒

疑い(報告や観察に基づく) あり(科学的根拠に基づく) なし(報告や観察、科学的根拠に基づく) 不明(判断できる有力な情報がない)

既往症: Charlson comorbidity index:

- 心筋梗塞 なし あり(医学的に明らかな心筋梗塞)
- うっ血性心不全 なし あり(症候性で特異的治療に反応したうっ血性心不全)
- 末梢血管疾患 なし あり(間欠性跛行、末梢動脈のバイパス術後、壊疽、急性末梢動脈閉塞、径6cmを越える大動脈または末梢血管の未治療動脈瘤)
- 脳血管障害 なし あり(一過性脳虚血発作、後遺障害が無いが軽度にとどまる脳卒中)
- 認知症 なし あり(慢性の認知機能障害)
- 慢性肺疾患 なし あり(呼吸困難の症候を伴う慢性の呼吸器疾患、または気管支喘息)
- 膠原病 なし あり(SLE, 多発筋炎, 皮膚筋炎, 混合性結合組織病(MCTD)、リウマチ性多発筋痛症、中等度以上のリウマチ)
- 消化性潰瘍 なし あり(過去に治療が行われた消化性潰瘍)
- 軽度の肝疾患 なし あり(慢性肝炎または、門脈圧亢進症候を伴わない肝硬変)
- 糖尿病 なし あり(治療中の糖尿病だが合併症なし)
- 臓器障害を伴う糖尿病 なし あり(網膜症、末梢神経障害、腎障害を伴う糖尿病)
- 中等度以上の腎疾患 なし あり(高クレアチニン(3mg/dL)、透析、腎移植、尿毒症)
- 片麻痺または対麻痺 なし あり(片麻痺または対麻痺の後遺症、ここに加点する場合脳血管障害(1)には加点しない。)
- 悪性新生物 なし あり(5年以内に治療開始された悪性の固形腫瘍で、転移の無いもの。悪性黒色腫以外の皮膚がんと上皮内子宮頸癌は除く)
- 白血病 なし あり(慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、真性多血症)
- 悪性リンパ腫と多発性骨髄腫 なし あり(悪性リンパ腫と多発性骨髄腫)
- 中等度以上の肝疾患 なし あり(門脈圧亢進症候を伴う肝硬変)
- 転移性悪性新生物 なし あり(明らかな転移のある悪性の固形腫瘍、ここに加点する場合悪性新生物(2)には加点しない。)
- AIDS なし あり(CD4+ T細胞が200/ μ L以下か、HIV感染の合併症を有する(Mandell 2010の定義による))
- 抗凝固薬/抗血小板薬 なし あり(常用薬として)
- 既往疾患なし

検査関連情報

超音波検査(出血診断) : 陽性 陰性 施行せず 不明

CT スキャン検査 : 施行せず 全身 他 不明

CT造影検査 : あり なし

CT 実施時間 : 20__年__月__日__時__分 推測 不明

緊急血管造影 : 施行せず 頭部 顔面 頸部 胸部 腹部 骨盤
脊椎 他 不明

血管造影開始時間 : 20__年__月__日__時__分 推測 不明

輸血

受傷後 24 時間以内輸血 : あり なし 不明

受傷後 24 時間以内輸血量 : RBC製剤__単位 FFP__単位 血小板
単位

輸血開始日時 : 20__年__月__日__時__分 (MAPの開始時刻)
推測 不明

救命救急処置 : (複数の選択OK)

呼吸 : 経口気管挿管 経鼻気管挿管 輪状甲状靭帯穿刺または切開
補助呼吸・人工呼吸

循環 : 閉胸心マッサージ 開胸心マッサージ 胸大動脈遮断
REBOA-IABO ECMO 後腹膜パッキング
胸腔穿刺 胸腔ドレナージ 心嚢穿刺 心膜開窓術
ターニケット装着 ペルビック・バインダー装着 骨髄輸液
中心静脈ルート確保 昇圧剤・カテコラミン投与
トラネキサム酸投与

手術適応: □なし □あり(ありの場合は下記入力)

頭部: □頭蓋内圧亢進 □開放性脳損傷 □陥没骨折 □水頭症 □その他

顔面: □大量出血 □形成目的 □咬合目的 □視機能回復 □その他

頸部: □大量出血 □気道確保 □血行再建 □その他

胸部: □胸腔内大量出血 □増大する縦隔血腫 □気道出血

□大量エアリーク □開放性胸郭損傷 □flail chest □横隔膜損傷

□その他

腹部: □腹腔内大量出血 □腹膜炎 □増大する後腹膜血腫 □溢尿

□腹壁開放性損傷 □ACS □その他

四肢: □整復固定 □大量出血 □血行改善・血行再建 □切断肢・断端形成

□その他

骨盤: □整復固定 □大量出血 □その他

脊椎: □整復固定 □脊椎管減圧 □その他

体表: □皮膚欠損 □挫滅組織除去 □その他

初回手術開始日時: 20 年 月 日 時 分 □推測 □不明

手術内容:(損傷とは、修復を必要とする可能性がある損傷を指す)

ダメージコントロール手術(DC1) なし あり

頭部 介入なし 介入あり:開頭手術 穿頭術 ICP測定
IVR(TAE ステント留置 その他) その他

顔部 介入なし 介入あり:手術療法 IVR(TAE ステント
留置 その他) その他

頸部 介入なし 介入あり:手術療法 IVR(TAE ステント留置
その他) その他

胸部 介入なし 介入あり:開胸手術 胸腔鏡下手術 試験開胸のみ
IVR(TAE ステント留置 その他) その他

腹部 介入なし 介入あり:Damage control 開腹手術 腹腔鏡下手術
試験開腹のみ IVR(TAE ステント留置 その他) その他

四肢・骨盤・脊椎 介入なし 介入あり:直達牽引 観血的整復固定
創外固定 肢切断 骨以外の手術 IVR(TAE ステント留置
その他) 指・肢再接着 その他

体表 介入なし 介入あり:植皮術
IVR(TAE ステント留置 その他) その他

診断名 (AIS コード)

I S Sは自動計算

診断名

A I S 2005 update 2008 コード

FCI

A I S

頭頸部

顔面

胸部

腹部

四肢

I S S

診断名

A I S 95 update 98 コード

A I S

頭頸部

顔面

胸部

腹部

四肢

I S S

TCDB 分類 (頭部のみ提示);

SDH EDH ICH DBI (1) DBI (2) DBI (3) DBI (4) MIX NonEvacu

該当せず 他 不明

日本外傷学会臓器損傷分類(2008)

肝損傷分類	_____	Appendix
脾損傷分類	_____	Appendix
膵損傷分類	_____	Appendix
腎損傷分類	_____	Appendix
消化管損傷分類	_____	Appendix
間膜・小網・大網損傷分類	_____	Appendix
胸郭損傷分類	_____	Appendix
気管・気管支損傷分類	_____	Appendix
肺損傷分類	_____	Appendix
横隔膜損傷分類	_____	Appendix
心損傷分類	_____	Appendix
大血管損傷分類	_____	Appendix
骨盤損傷分類	_____	Appendix
頭部損傷分類	_____	Appendix

合併症: あり なし

中枢神経系:尿崩症 水頭症 脂肪塞栓症 髄液瘻 髄膜炎 脳卒中 高次脳機能障害

精神障害(PTSD など)その他

循環器系:急性心筋梗塞 重症不整脈 急性腎不全 腹部コンパートメント症候群(ACS)

その他

呼吸器系:肺水腫 無気肺 肺炎(誤嚥性肺炎含む) 肺塞栓 膿胸 ARDS VAP

その他

消化器系:急性ストレス潰瘍、消化管出血 イレウス 膵炎 胆嚢炎 肝不全 その他

骨格系:コンパートメント症候群 骨髄炎 その他

泌尿器・生殖系:あり なし

凝固系:急性期DIC その他の血液凝固障害

感染症ほか:カテーテル感染 敗血症 腹腔内膿瘍 尿路感染症 感染性腸炎 創感染

創離開 手術創感染 褥瘡 低体温(35℃未満) その他

計画外イベント:計画外ICU入室 計画外気管挿管 計画外再手術

計画外ICU入室;ICU一旦退出後に計画外にICU再入室となった場合

計画外気管挿管;気管挿管チューブを抜管後24時間以上経過して、再挿管が必要となった場合

計画外再手術;初めの手術管理後に直前の手術と同じかそれに関連した手術のための再手術

入院退院情報

入院日：20__年__月__日__時__分 推測 不明

初期治療後入院：救急センター(ICU) 一般病棟入院 救急室または手術室
にて死亡 他 不明

初診後転送：あり なし

入院後診療科：救急科(救急専従医) 外科 脳外科 整形外科 形成外科
他 不明

人工呼吸管理日数_____日 ICU 在室日数_____日

救急部退出/転科日：20__年__月__日__時__分 推測 不明

救急部管理日数_____日(自動計算)

退院日：20__年__月__日__時__分 推測 不明

退院時転帰：生存 死亡

退院後転出先(生存の場合)：自宅 他医療機関 他 不明

死亡時刻：20__年__月__日__時__分 推測 不明

剖検：なし あり：司法解剖 行政解剖 病理解剖 他 不明



ご清聴ありがとうございました